

| | | |
|---|--|--|
| <p>5-1. 荷主からの推薦・表彰又は経営の安定化について</p> <p>(1) 荷主からの推薦・表彰を受けている。</p> <p>(2) 荷主からの推薦・表彰状の写しを添付してあるか。</p> <p>(3) 経営が安定的に行われてきている。</p> <p>(4) 経営が安定的に行われていることに関する宣誓書は添付し <u>てあるか。【第11号様式の2】</u></p> | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> |
| <p>5-2. 安全運転の確保について</p> <p>(1) 「運転記録証明書」を取り寄せ、個別指導に活用している。</p> <p>(2) <u>(1)に係る宣誓書を添付しているか。【第12号様式】</u></p> | <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> |

5-1と5-2は、
どちらか片方の申請で差し支えない

○無事故である旨の宣誓書（第4号様式）

| | |
|--|---|
| （第4号様式） | |
| 無事故である旨の宣誓書 | |
| 本年4月1日（表彰基準日） より過去3年間分を記載 | |
| <p>弊社は、2020年4月～2023年3月までの3年間について、千葉運輸支局管内の事業所において、自動車事故報告規則（昭和26年運輸省令第104号）第2条に規定する事故であって、表彰の基準の規定に該当する事故について、第1当事者又は第1当事者と推定される重大な事故を惹起していないことを報告します。</p> <p>なお、申請期間より表彰日の間に、上記の重大事故を発生させた場合は、表彰を辞退させていただきます。</p> <p>上記について、宣誓いたします。</p> | |
| 2023年7月31日 | |
| 申請日を記入する | |
| 千葉運輸支局長 殿 | |
| 会社名・代表者名を記名。 代表者は営業所長が代表の場合は代表取締役社長を記載したのちに追記する。 | 株式会社 千ト協運輸 代表取締役 千葉 太郎 (美浜営業所長 稲毛 一郎) |

※申請後に千葉運輸支局管内に存する全ての事業所を対象として、記載した範囲内において第一当事者とされる自動車事故報告書を提出しているか確認が行われ、1つの事業所でも該当していた場合は、当表彰申請は取下となります。

※千葉運輸支局における第一当事者の定義は、Gマーク審査における過失認定の定義とは異なっており、Gマークで過失なしとして継続認定を受けていた事業所が、表彰申請で第一当事者として取下となったケースがありますので、あらかじめご承知おきください。

○運転者教育の実施に関する宣誓書（第5号様式）

| | | |
|--|---|----------------------|
| | | (第5号様式) |
| 会社名・事業所名を記入する | 運転者教育の実施について | 本年4月1日（表彰基準日）の前年度を記入 |
| 私ども株式会社 千ト協運輸 美浜営業所は、2022度の1年間に、別添の資料のとおり安全防止会議やヒヤリ・ハット活動などの運転者教育を、年間計画表やカリキュラムに基づいて所属運転者全員に対して実施しましたので、報告いたします。 | | |
| 2023年7月31日 | | |
| 千葉運輸支局長 殿 | | 申請日を記入する |
| 会社名・代表者名を記名。 代表者は営業所長が代表の場合は代表取締役社長を記載したのちに追記する。 | 株式会社 千ト協運輸 代表取締役 千葉 太郎 (美浜営業所長 稲毛 一郎) | |

※ドライバー教育の内容については、第2号様式でチェックした

- a 事故防止会議を実施している。
- b 安全衛生会議を実施している。
- c グループによる危険予知訓練又はヒヤリ・ハット活動を実施している。
- d 交通事故防止に係るQC活動を実施している。
- e 小グループによる安全活動を実施している。
- f 交通事故防止等輸送の安全性確保に関する会議又は活動を実施している。
- g 上記以外のもので同様の内容の教育を実施している。

等を記載して下さい。

○年間計画表（第6号様式の2） 本年4月1日（表彰基準日）

の前年度を記入

（第6号様式の2）

年間計画表（2022年度）

| 月 | ① 告示項目 | ② 告示項目以外 | 備考 |
|-----|-----------------------------------|------------|----|
| 4月 | 事業用自動車を運転する場合の心構え | | |
| 5月 | 事業用自動車の運行の安全を確保するために遵守すべき基本的事項 | ヒヤリ・ハット報告会 | |
| 6月 | 事業用自動車の構造上の特性 | 事故防止会議 | |
| 7月 | 貨物の正しい積載方法 | | |
| 8月 | 過積載の危険性 | 事故事例検討会 | |
| 9月 | 危険物を運搬する場合に留意すべき事項 | 事故防止会議 | |
| 10月 | 適切な運行の経路及び当該経路における道路及び交通の状況 | | |
| 11月 | 危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法 | ヒヤリ・ハット報告会 | |
| 12月 | 交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要因及びこれらへの対処方法 | 事故防止会議 | |
| 1月 | 運転者の運転適性に応じた安全運転 | | |
| 2月 | 健康管理の重要性 | 事故事例検討会 | |
| 3月 | 安全性の向上を図るための装置を備える事業用自動車の適切な運転方法 | | |

株式会社 千ト協運輸 美浜営業所

国土交通省告示1366号で定められた12項目は、こちらの列に計画月に合わせて記載する。

会社名・事業所名を記載する。

国土交通省告示1366号で定められた12項目以外の教育は、こちらの列に計画月に合わせて記載する。

※6号様式には計画を記載してください。（実施記録は7・8号様式）

※第7号様式と第8号様式を分けて用いる場合、
 本様式の提出は不要です。
 ※2022年4月～2023年3月の全ての実施
 月について作成し、教育に使用した資料と合わ
 せて申請してください。

(第7.8号様式)

平成4月21日

| | | |
|----|-------------------------------|-------|
| 検印 | 社長(所長) | 運行管理者 |
| | 社長(営業所長)と 運行管理者の 検印を捺す。 | |

時 間 14時30分～15時00分
 場 所 事務所会議室
 指導責任者 稲毛 一郎
 運行管理者 磯辺 次郎

| | |
|---|---|
| 指導教育の内容 | 1. 事業用自動車を運転する場合の心構え |
| | ○トラック輸送は国内貨物輸送の9割を占めるライフラインの一つで、輸送事業は公共 |
| | 性が高い仕事であること、運転者は物流を支えるプロであることを理解させた。 |
| | ○人身事故は追突が半数を占める、人との接触事故のほとんどが交差点で発生している |
| | といった交通事故の統計を踏まえ、トラック事故が大きな社会的損害を引き起こすこ |
| | とを理解させた。 |
| ※出席者名には運転者全員を教育したことが確認できるように、記載する。 ※1回の教育で複数枚に渡って記録する場合には、全ての記録を添付する。 ※出席者の中に新規雇用者又は退職者等がいた場合は運転者台帳に詳細を 記入(選任年月日、退職年月日等)し、写しを添付する。 | |
| 覚させた。 | |

| | | | | | | | | |
|-----------------|-------------------------------------|-------|-------|-------------|-------|----|----|---|
| 出席者及び欠席者フォローアップ | 出席者名 | 花見川 栄 | 緑 備井 | 美浜 思惟 | 中央 出居 | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | 後日受講者 フォロー アップ (時間も 記載) | 日付 | 氏名 | 時間 | 日付 | 氏名 | 時間 | ～ |
| | | 4/28 | 若葉 衣斐 | 14:30～15:00 | | | | |
| 日付 | | 氏名 | 時間 | ～ | 日付 | 氏名 | 時間 | ～ |
| | 日付 | 氏名 | 時間 | ～ | 日付 | 氏名 | 時間 | ～ |

○運転者教育台帳（第7号様式）

会社名・事業所名を記載する。

（第7号様式）

株式会社 千ト協運輸 美浜営業所
運転者教育台帳

| | | | | |
|-----------|-----------------|------------|--------------------------------|---------------------|
| 氏名 | 花見川 栄 | | 生年月日 | 1978年 4 月 30 日 |
| 雇入年月日 | 2010年 4 月 1 日 | | 選任年月日 | 2010年 7 月 1 日 |
| 実施年月日 | 時間 | 場所 | 指導教育内容 | 実施者 |
| 2022.4.21 | 14:30 ～15:00 | 事務所 会議室 | 事業用自動車を運転する場合の心構え | 運行管理者：磯辺 |
| 2022.5.19 | 14:30 ～15:00 | 事務所 会議室 | 事業用自動車の運行の安全を確保するために遵守すべき基本的事項 | 稲毛所長 運行管理者：磯辺、打瀬 |
| 2022.6.23 | 14:30 ～15:00 | 事務所 会議室 | 事業用自動車の構造上の特性 | 稲毛所長 運行管理者：磯辺 |
| 2022.7.21 | 14:30 ～15:00 | 事務所 会議室 | 貨物の正しい積載方法 | 運行管理者：磯辺 |
| 2022.8.18 | 14:30 ～15:00 | 事務所 会議室 | 過積載の危険性 | 稲毛所長 運行管理者：磯辺、打瀬 |
| 2022.9.22 | 14:30 ～15:00 | 事務所 会議室 | 危険物を運搬する場合に留意すべき事項 | 稲毛所長 運行管理者：磯辺 |

※（第7・8号様式）を用いる場合、本様式の提出は不要です。

※記入例では9月までの記載となっておりますが、2022年4月～2023年3月の全ての実施月について、記載してください。

※事業所の全運転者分作成してください。

○運転者教育記録（第8号様式）

指導主任者の検印を捺す。
（補助者は、存在する場合のみ）

（第8号様式）

運転者教育記録

| | | |
|---|-------|-----|
| 検 | 指導主任者 | 補助者 |
| 印 | 印 | 印 |

実施年月日 2022年 4月 21日
 時 間 自 14:30 至 15:00
 場 所 本社事務所 会議室
 実 施 者 所長 稲毛 一郎
 教育係長 磯辺 次郎

指
導
教
育
の
内
容

※（第7・8号様式）を用いる場合、本様式の提出は不要です。
 ※2022年4月～2023年3月の全ての実施月について作成し、教育に使用した資料と合わせて申請してください。

であることを理解させた

○人身事故は追突が半数を占める、人との接触事故のほとんどが交差点で発生しているといった交通事故の統計を踏まえ、トラック事故が大きな社会的損害を引き起こすことを理解させた。

○他の運転者に与える影響の大きさを認識し、譲り合いの気持ちを持つ、油断や過信をしない、急いだり焦ったり興奮したりしない、などの模範運転手としての心構えを自覚させた。

| 氏 名 | 氏 名 | 記 事 |
|-------|-------|------------------|
| 花見川 栄 | 美浜 思惟 | 若葉 衣斐 は 欠席。後日実施。 |
| 緑 備井 | 中央 出居 | |
| | | |

※出席者名は運転者全員を教育したことが確認できるように、記載する。
 ※1回の教育で複数枚に渡って記録する場合には、全ての記録を添付する。
 ※出席者の中に新規雇用者又は退職者等がいた場合は運転者台帳に詳細を記入（選任年月日、退職年月日等）し、写しを添付する。

| | | |
|---|--|--|
| 名 | | |
| | | |

○デジタル式運行記録計又はドライブレコーダーの装着に関する宣誓書について
(第10号様式の2(運輸支局長表彰用))

(第10号様式の2)

デジタル式記録計又はドライブレコーダーの装着について

申請基準日を記載する。

教育方法を記載する。

営業所におけるデジタル式運行記録計又はドライブレコーダーの装着については、**2023年4月1日**現在、以下のとおり配置車両の**90%**以上に対して、デジタル式運行記録計又はドライブレコーダーを装着しています。

その効果については、ドライバー教育に **速度超過抑制** 形で

※最重点注意
本年4月1日時点の営業所配置数の運輸支局への届出数と同じ数を記載する。

全配置車両数 **5台(A)**

内デジタル式運行記録計装着車両数 **1台(B)**

内ドライブレコーダー装着車両数 **1台(C)**

内デジタコ・ドラレコ併用装置装着車両数 **3台(D)**

$(B) + (C) + (D) \div (A) \geq 90\%$

| 登録番号 | デジタル式運行記録計の装着 | ドライブレコーダーの装着 | デジタコ・ドラレコ併用装置の装着 |
|-----------------------------|---------------|--------------|------------------|
| 千葉130あ〇〇-〇〇 | | | 〇〇社製〇〇〇〇 |
| 千葉130い〇〇-〇〇 | | | 〇〇社製〇〇〇〇 |
| 千葉130う〇〇-〇〇 | | | 〇〇社製〇〇〇〇 |
| 千葉800え〇〇-〇〇 | 〇〇社製〇〇〇〇 | | |
| 千葉400お〇〇-〇〇 | | 〇〇社製〇〇〇〇 | |
| | | | 機器の社名と型式を記載する。 |
| 欄が足りない際は行を追加して全ての配置車両を記載する。 | | | |
| 計 | 5台 | 小計 | 1台 |
| | | 小計 | 1台 |
| | | 小計 | 3台 |

以上、報告します。

2023年7月31日

関東運輸局長 殿

会社名・代表者名を記名。
代表者は営業所長が代表の場合は代表取締役社長を記載したのちに追記する。

申請日を記入する

株式会社 千ト協運輸
代表取締役 千葉 太郎
(美浜営業所長 稲毛 一郎)

追記 表彰基準日である2023年4月1日時点の当営業所の配置車両数は届出上6両ですが、2023年3月27日届出の5両から6両に増車した車両は4月10日に登録しており、表彰基準日時点の実車数は申請通りの5両である旨を追記します。

車両増減は事前届の為、基準日時点の届出車両数と実車数が異なった場合は追記を記載する。

○経営の安定化に関する宣誓書について（第11号様式の2（運輸支局長表彰用））

（第11号様式）

経営の安定化に関する宣誓書について

（例示－1）

弊社は、Gマーク取得後の2013年より、特定の荷主（（株）千葉冷食の野菜を2007年～2022年の間を毎日運送している）を開拓できたことにより、売上に大きく貢献（2007年と比べ10%アップした。3年間の平均でも5%の売上のアップを確保）することにより、当該美浜営業所における2013年～2022年の10年間の安定的な財務基盤を確保することができました。

（参考）に図表を添付

（例示－2）

弊社は、Gマーク取得後の2013年より、Gマーク取得を評価する複数の荷主（（株）千葉冷食、市原フローズン（株）、（株）習志野フーズ）から貨物量増加の依頼を受けたことにより、当該美浜営業所における売上が3年間の平均15%向上することができ、財務基盤の確保を図りました。

（参考）に図表を添付

（例示－3）

弊社は、Gマーク取得後の2013年より、従来の荷主である（株）千葉冷食から更なる信頼を勝ち得ることができました。その結果、それまで横ばいだった貨物の量がこれを契機として3割増の量を得ることができ、当該美浜営業所における2013年から2022年の10年間に渡り安定的な財務基盤の確保を図ることができました。

（参考）に図表を添付

以上、報告します。

2023年7月31日

関東運輸局長 殿

申請日を記入する

会社名・代表者名を記名。
代表者は営業所長が代表の場合は代表取締役社長を記載したのちに追記する。

株式会社 千ト協運輸
代表取締役 千葉 太郎
(美浜営業所長 稲毛 一郎)

売上や輸送量の増加をグラフや表で、別に添付する。

※（例示－1）（例示－2）（例示－3）のいずれかを用いて、荷先名や売上、輸送量の数値を自社の数値に置き換えてください。

○運転記録証明書の活用についての宣誓書について（第12号様式）

（第12号様式）

運転記録証明書の活用についての宣誓書

弊社の当該事業所においては 年4月1日～2023年3月31日までの 年間に、選任運転者 に対して運転記録証明書を取り寄せ、運転者の違反の管理、個別指導に活用しました。

以上、報告します。

2023年7月31日

関東運輸局長 殿

会社名・代表者名を記名。
代表者は営業所長が代表の場合は代表取締役社長を記載したのちに追記する。

申請日を記入する

株式会社 千ト協運輸
代表取締役 千葉 太郎
(美浜営業所長 稲毛 一郎)

※下記のいずれかの組み合わせで記載してください。

① 直近1年で選任運転者3割に対して活用した場合

2022 1 の3割以上

② 直近3年で選任運転者全員に対して活用した場合

2020 3 全員